

# 1. 経 済 動 向

記事提供：一般財団法人 建設物価調査会 北陸支部

## 新潟県内の景況について

新潟県鉱工業指数をみると、令和4年9月の生産指数は96.6で前月比1.9%減と、4ヵ月ぶりの低下となった。業種別にみると、食料品工業、電気・情報通信機械工業、化学工業等8業種が低下し、汎用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業、鉄鋼業等7業種が上昇した。出荷指数は96.2で、前月比横ばいであった。これは輸送機械工業、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業等6業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、金属製品工業、汎用・生産用・業務用機械工業等9業種が低下したことによる。また、在庫指数は92.6で前月比0.5%の上昇となった。

令和4年9月の有効求人倍率は1.63倍（全国平均1.34倍）で前月と同水準となった。新規求人倍率は2.46倍で、こちらは0.01ポイントの上昇となった。主要産業別にみると、建設業、製造業、情報通信業、運輸業・郵便業、宿泊業・飲食サービス業等で上昇し、農・林・漁業、教育・学習支援業等で低下した。雇用情勢は、改善の動きが見られる。なお、引き続き国際情勢の動向、物価の高騰等が雇用に与える影響に十分注意する状況にある。

令和4年9月の新潟市消費者物価指数は、総合で102.7となり前月に比べ0.2%上昇、前年同月比では3.2%の上昇となっている。前月からの動きをみると「家具・家事用品」が1.1%下落したものの、「被服及び履物」が3.6%上昇した結果、総合で0.2%の上昇となった。

## 富山県内の景況について

富山県鉱工業指数をみると、令和4年9月の生産指数は95.8で前月比3.2%の低下となり、2ヵ月ぶりに低下した。これは13業種中、化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業、その他工業等6業種が低下したことによる。なお、上昇した業種は食料品工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等の6業種である。また、金属製品工業が横ばいとなった。在庫指数は109.9と前月比2.6%の低下となり、2ヵ月連続で低下した。これは13業種中、化学工業、窯業・土石製品工業、その他工業等8業種で低下したことによる。なお、上昇した業種は、電気機械工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等5業種である。

令和4年9月の有効求人倍率は1.59倍となり、前月比0.01ポイントの上昇となった。新規求人数は8,576人と前年同月比8.2ポイント上昇し、19ヵ月連続の上昇となった。主要産業別にみると、建設業、製造業、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療・福祉等で上昇し、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、不動産業・物品賃貸業、サービス業等が低下した。雇用情勢は求人が求職を大幅に上回って推移し、改善の動きがみられるが、感染症が雇用に与える影響に注意する必要がある。

令和4年9月の富山市消費者物価指数は、総合で103.1となり前月比0.2%の上昇となった。これは、「教養娯楽」等は低下したものの、「食料」等が上昇したことによる。また前年同月比では、「被服及び履物」等が低下して、「食料」等が上昇したことにより、3.0%の上昇となった。

## 石川県内の景況について

石川県鉱工業指数をみると、令和4年9月の生産指数は91.6と前月比7.4%低下と、2ヵ月連続の低下となった。これは汎用機械工業、生産用機械工業、情報通信・電子部品・デバイス工業、化学工業等が低下したことによる。出荷指数は85.9と前月比10.5%の低下で、2ヵ月連続で低下となった。また在庫指数は60.3で前月比6.4%低下し、2ヵ月ぶりの低下となった。

令和4年9月の有効求人倍率は1.69倍で前月比0.02ポイントの上昇となった。新規求人倍率は2.75倍で、こちらも前月比0.02ポイント上昇した。主要産業別にみると、建設業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、複合サービス事業、サービス業が上昇。一方、教育・学習支援業は低下した。雇用情勢は注意を要する状態にあるものの、持ち直している。

令和4年9月の金沢市消費者物価指数は、総合で102.9となり前月比0.3%上昇した。これは、「食料」、「被服及び履物」、「光熱・水道」等が上昇したことによる。また前年同月比では、「食料」、「光熱・水道」、「住居」等が上昇し、2.7%の上昇となった。

※ 上記は、令和4年9月時点での経済活動である。

## 主要経済動向指標（北陸地方3県の比較）

項目・ 県別			鉱工業生産動向指数(季節調整済) [平成27年=100] ※富山は31年4月、石川は31年1月より平成27年基準								
			生 産			出 荷			在 庫		
			新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川
令和 三年度	Ⅲ	10月	98.5	95.4	89.6	99.5	-	81.9	95.0	105.7	54.9
		11月	96.8	99.7	107.5	97.0	-	97.6	94.6	107.6	56.0
		12月	97.8	103.1	92.5	97.7	-	91.3	94.5	108.4	52.6
	Ⅳ	1月	98.8	99.0	103.4	101.0	-	93.7	93.5	109.7	51.2
		2月	97.6	98.1	101.8	98.1	-	101.0	94.0	112.3	48.2
		3月	97.3	97.5	94.7	99.5	-	89.5	92.0	110.9	69.3
令和 四年度	Ⅰ	4月	96.8	95.5	97.8	100.8	-	98.0	90.0	111.2	66.6
		5月	96.7	92.8	90.9	97.5	-	87.0	89.6	110.9	61.6
		6月	r 96.7	99.5	93.2	r 98.1	-	89.7	r 89.0	110.8	62.1
	Ⅱ	7月	98.0	97.5	99.6	95.2	-	100.8	90.3	113.0	48.3
		8月	98.5	99.0	98.9	96.2	-	96.0	92.1	112.8	64.4
		9月	p 96.6	p 95.8	91.6	p 96.2	-	85.9	p 92.6	p 109.9	60.3
資料出所			県統計課								

項目・ 県別			有効求人倍率			消費者物価指数		
			(季節調整済)			※[2020年=100]		
			新 潟	富 山	石 川	新潟(市)	富山(市)	金沢(市)
令和 三年度	Ⅲ	10月	1.43	1.43	1.41	99.2	100.0	100.2
		11月	1.44	1.44	1.41	99.6	100.1	100.1
		12月	1.44	1.46	1.43	99.6	100.2	100.1
	Ⅳ	1月	1.52	1.57	1.46	100.1	100.7	100.2
		2月	1.54	1.55	1.51	100.3	100.9	100.8
		3月	1.51	1.52	1.47	100.9	101.3	101.0
令和 四年度	Ⅰ	4月	1.55	1.55	1.52	101.3	101.8	101.3
		5月	1.56	1.51	1.63	101.8	101.9	101.6
		6月	1.58	1.57	1.64	101.5	102.1	101.3
	Ⅱ	7月	1.63	1.58	1.67	102.0	102.5	102.0
		8月	1.63	1.58	1.67	102.4	102.9	102.5
		9月	1.63	1.59	1.69	102.7	103.1	102.9
資料出所			労働局職業安定課			県統計課		

(注) ・Pは速報値を示し、rは修正値を示す。  
 ・各指標は速報値を含み年度修正が行われるため、先の公表分と異なる場合がある。